

「最近の機械貿易動向(9月)～機械輸出額11ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2019.11.21

2019年9月の機械輸出額は4兆580億円、対前年同月比6.4%減と、11ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、① その他地域向け以外の5地域向けで前年同月比減少したこと、② 21業種中17業種が減少したことなどによる。為替・営業日要因が2.8%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は9.0%減となった。2019年10月の為替・営業日要因は7.3%の減少寄与要因となっているが、11月20日発表の貿易統計速報による簡易計算では、10月の機械輸出は9.5%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆3,683億円(前年同月比 [以下同じ] 5.2%減、10ヶ月連続減少)
- ② 全商品輸入額:6兆4,931億円(1.5%減、5ヶ月連続減少)
- ③ 貿易収支:1,248億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆580億円(6.4%減、11ヶ月連続減少)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:9.0%減(再び減少)
- ② 機械輸入額:2兆1,370億円(3.2%増、2ヶ月ぶり増加)

(2) 為替・営業日動向

2019年9月に2.8%の増加要因、10月に7.3%の減少要因、11月に7.1%の減少要因となる。

(3) 地域別動向

- ① その他地域向けを除き、5地域向けで前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:10.6%減、2ヶ月連続減少(図表4、5)
- ③ 中国向け:10.3%減、7ヶ月連続減少(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:6.1%減、9ヶ月連続減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:0.1%減、2ヶ月連続減少(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:5.4%減、20ヶ月連続減少(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:0.2%増、2ヶ月ぶり増加(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中4業種が増加。そのうち船舶が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 発電機(米国、中国向け中心)が大きく増加
- ② 鉄道車両、通信機械部分品等が大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、8機種が増加
- ② そのうち4機種が二桁の増加

II トピックス

1. 【中国】CATL が車載電池をダイムラーに供給。中国国内の NEV 販売は低迷

車載用電池で世界大手の中国 CATL（寧徳時代新能源科技）は、2021 年から独ダイムラーの商用車（「e アクトロス」、「e カスケディア」など）向けにリチウム電池を供給する（ダイムラーは電動化戦略を加速しており、電動化に 100 億ユーロ投資する）。

CATL はドイツ中部チューリンゲン州で 18 億ユーロにのぼる巨額投資を行い、同社初の海外工場を建設している。2021 年から生産を開始する。EV 市場が急速に立ち上がったために電池不足が予想されていることから、CATL 製品の需要が高まっている。同社は VW、PSA や上海汽車、東風汽車など中国の主要自動車メーカーにも供給を行う。

CATL は 2011 年に設立された新興電池メーカーであるが、「中国製造 2025」を掲げる政府の支援と EV 普及を背景に急成長しており、2018 年には出荷量でパナソニックを抜いてトップに立った。低コストに加え、技術力にも定評がある。その他、中国の有力電池メーカーとしては BYD や合肥国軒高科動力能源、天津力神電池などがある。しかし、足元の中国自動車市場は急減速しており、9 月の新エネルギー車（NEV）販売は前年同月比 34.2%減の約 8 万台と 3 カ月連続でマイナスとなった。

2. 【ベトナム】第3四半期も好調な経済成長。中国からの生産移転の動きが強まる

ベトナムの 2019 年第 3 四半期（7-9 月期）の経済成長率は、前年同期比 7.31%増と高い伸びを示した。特に米国向けの輸出が成長エンジンとなった（対米輸出額は、1-9 月は前年同期比で 28%増となった）。アジア開発銀行（ADB）は、ベトナムの経済成長率を 2019 年は 6.8%、2020 年は 6.7%と予測する。米中貿易紛争が激化するなか、安価で豊富な労働力などへの期待感から、企業の生産移転が進んでいる。2019 年の 8 カ月間の直接投資は、前年同期比 6.3%増の約 120 億ドルと好調である。ハノイの他、バクニン省やビンズオン省に投資が集中している。

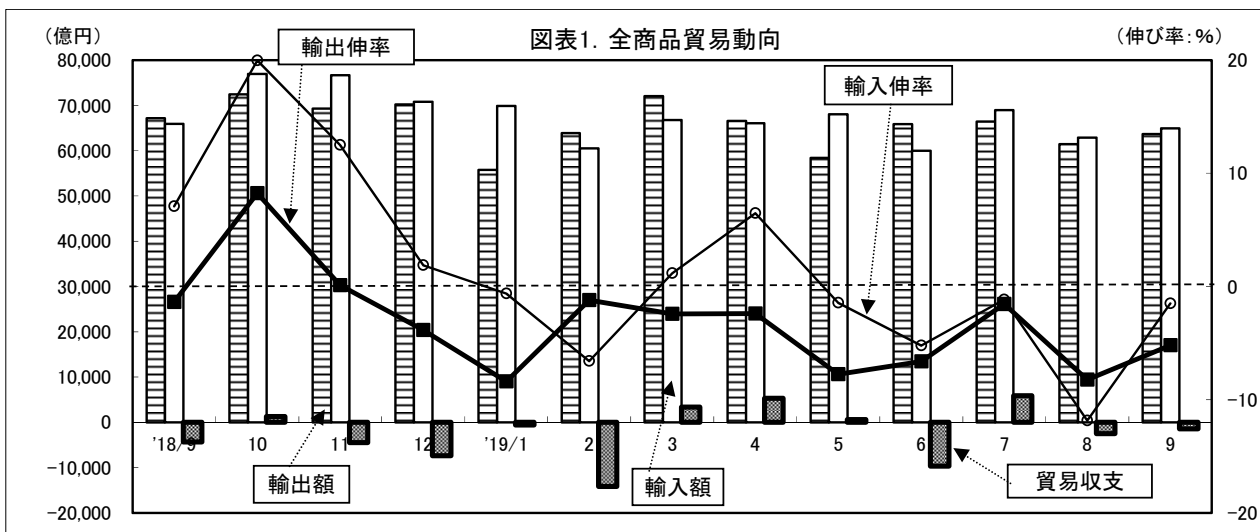
国内消費も好調である。9 月のベトナムの自動車販売は、前年同期比 4%増の 2 万 1,483 台となった。（ちなみに、インドネシアは前年同期比 12%減の 9 万 443 台、タイも 7%減の 8 万 838 台となった）。2019 年の 9 カ月間の累計では 18.4%増となった。

他方、ベトナム経済にはリスクも伴う。企業の進出が相次ぎ、地価・人件費が高騰している。また、港湾など物流インフラの未整備や電力不足も指摘される。世界銀行のビジネス環境調査では 69 位と、中国（46 位）よりも評価は低い。さらに、中国製品の迂回輸出を警戒する米国の対応も懸念点となっている。米財務省は、今年 5 月にベトナムを為替監視対象国に加えた。7 月には耐食鋼材など鉄鋼製品の一部に対して関税を課した。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は10ヶ月連続で減少、輸入も5ヶ月連続減少～

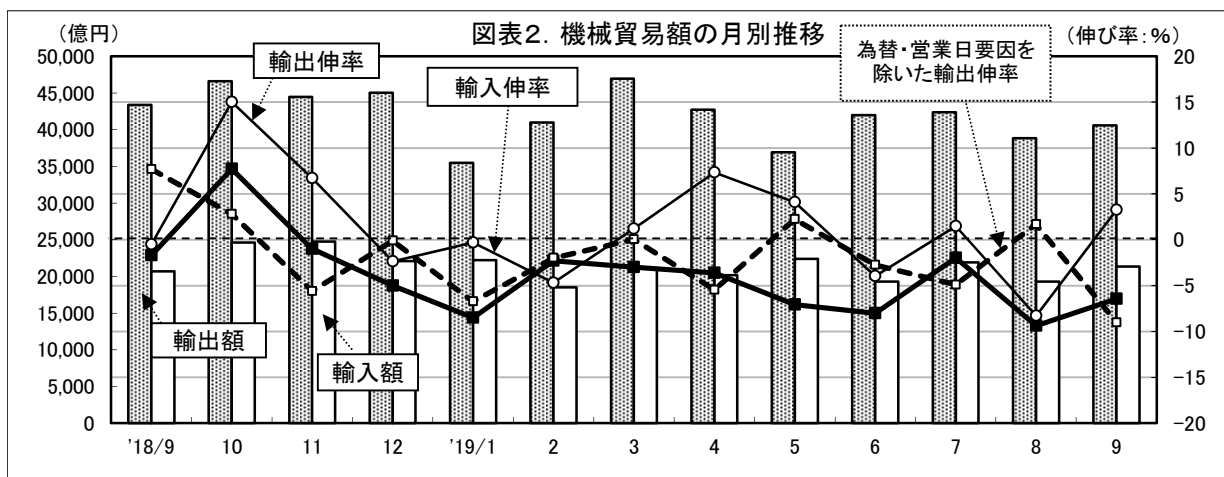
- 1) 2019年9月の全商品輸出額は**6兆3,683億円**、前年同月比(以下同じ)**5.2%減**と10ヶ月連続で減少した(8月8.2%減)。これは、約24%を占める輸送用機器(2.7%減)をはじめ、約19%を占める一般機械(11.2%減)、約18%の電気機器(4.7%減)、約11%のプラスチック等化学製品(2.1%減)等が減少したためである。
- 2) 輸入額は**6兆4,931億円**、**1.5%減**と5ヶ月連続で減少した(8月11.9%減)。これは、全輸入額の約17%を占める電気機器(4.0%増)、約10%の一般機械(1.2%増)等が増加したものの、約20%を占める原粗油等鉱物性燃料(19.1%減)、約9%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(1.3%減)等が減少したことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、約1,248億円と3ヶ月連続で赤字(8月は1,435億円の赤字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は11ヶ月連続減少、輸入は再び増加～

- 1) 全商品輸出額の約64%を占める9月の機械輸出額は**4兆580億円**、**6.4%減**と11ヶ月連続で減少し(8月9.4%減)、その水準は、リーマンショック前(2007年9月)と比べると**80.8%**となって、前月に比べて5.4ポイント悪化した(8月86.2%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率**は**9.0%減**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は、**2兆1,370億円**、**3.2%増**と2ヶ月ぶりに増加し(8月8.3%減)、リーマンショック前(2007年9月)の水準に比べ、38.8%増となっている。

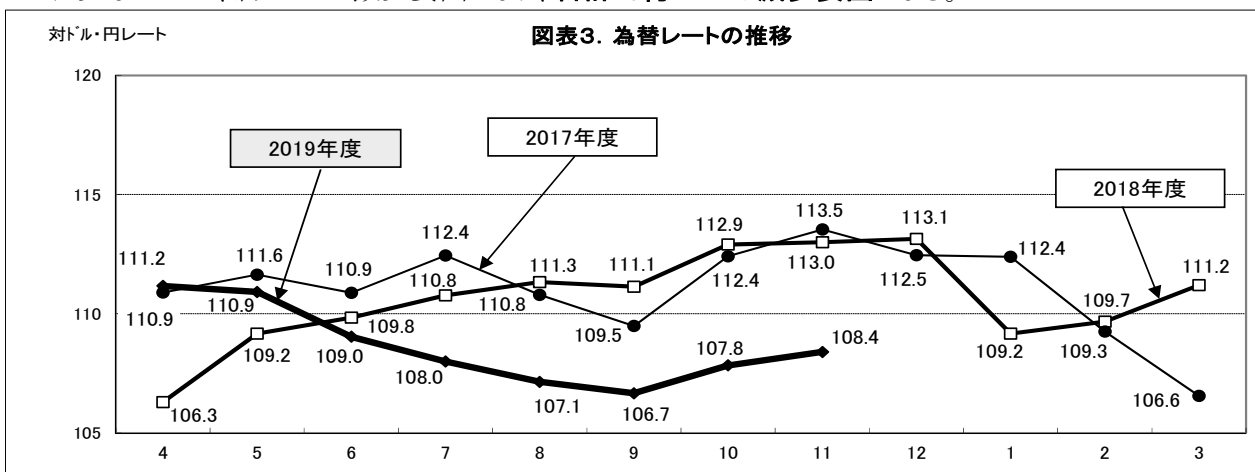


(2) 為替・営業日動向～9月は2.8%の増加要因、10月は7.3%の減少要因～

1) 2019年9月は1ドル=106.7円となり、前年に比べ4.0%の円高となった。また、対ユーロは117.8円と前年に対して8.6%の円高となり、合わせて約2.6%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日多いため、約5.6%の増加要因となり、合計で約2.8%の増加要因となる。9月の輸出額は6.4%減であったことから、実質的伸び率は9.0%減と再び前年同月比減少となった(8月1.7%増)。

2) 2019年10月は1ドル=107.8円で前年比4.5%の円高、対ユーロは118.6円で前年比9.4%の円高となり、合わせて約2.9%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.5%の減少要因となり、合計で約7.3%の減少要因となる。

3) 2019年11月は、対ドルが11月20日17:00時点の108.4円とすれば、4.1%の円高、また、対ユーロは120.0円で6.8%の円高となり、合わせて約2.5%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.8%の減少要因となり、合計で約7.1%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～その他地域向けを除き、5地域向けで前年同月比減少～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の23.7%を占める北米向けでは、約47%を占める自動車(16.4%減)、産業機械(1.3%減)、航空機部品(5.2%減)等が減少し、10.6%減となった。②21.4%を占める中国向けでは、電子デバイス(9.4%増)が増加したものの、産業機械(16.9%減)、自動車(12.9%減)、軽電気機械(1.5%減)等が減少して10.3%減となり、③15.7%のASEAN・南アジア向けは、フィリピン(14.2%増)向け等が増加したものの、タイ(12.2%減)、インドネシア(10.6%減)、パキスタン(51.7%減)等向けが二桁減少し、業種でも、産業機械(1.8%増)等が増加したものの、自動車(15.6%減)、軽電気機械(11.0%減)等が減少して6.1%減となった。④12.3%を占めるEU向けは、自動車(20.1%増)、軽機械(4.2%増)等が増加したものの、産業機械(18.6%減)、軽電気機械(10.1%減)等が減少して0.1%の微減となり、⑤9.9%を占める韓国・台湾向けは、電子デバイス(8.5%増)が増加したものの、産業機械(11.9%減)、重電気機械(20.0%減)等が減少して5.4%減となった。⑥16.9%のその他地域向けでは、大洋州(10.6%減)向け等が減少したものの、中近東(5.8%増)、ロシア東欧等(2.5%増)等向けが増加し、業種でも、船舶(10.8%増)等が増加したものの、産業機械(12.7%減)、建設機械(2.5%減)等が減少して0.2%の微増となった。

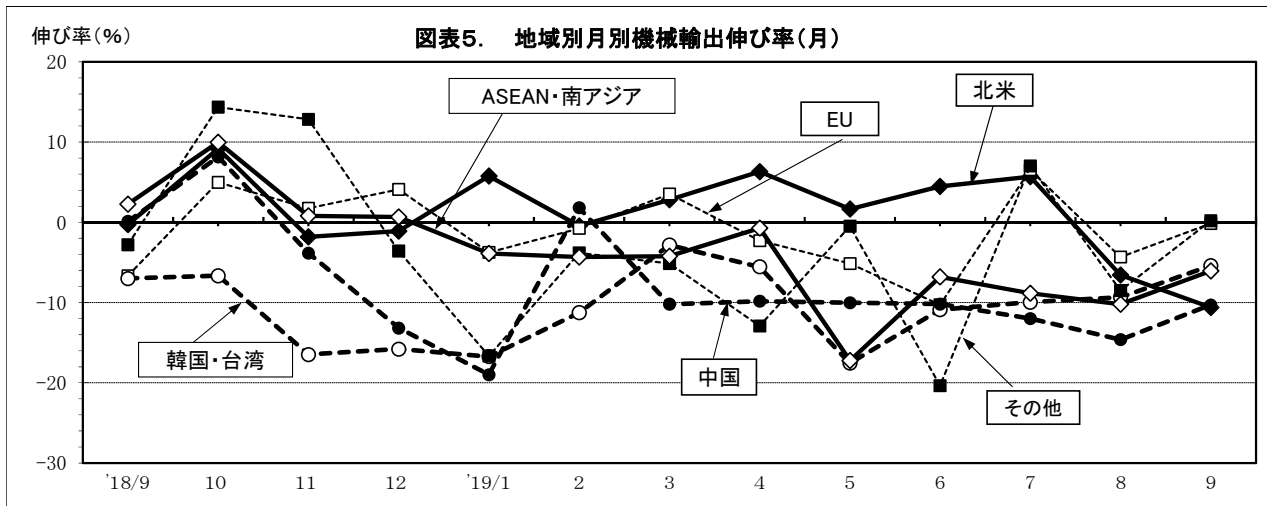
2) また、リーマンショック前の2007年9月の地域別輸出額と比較すると、ASEAN・南アジア向けが100%台、中国向けが90%台、韓国・台湾向けが80%台、北米、その他地域向けが70%台、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

	2019/7			2019/8			2019/9			対07年 9月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	42,373	▲ 2.0	100.0	38,847	▲ 9.4	100.0	40,580	▲ 6.4	100.0	0.81
北米	10,951	5.7	25.8	9,486	▲ 6.6	24.4	9,636	▲ 10.6	23.7	0.76
中国	8,987	▲ 12.0	21.2	8,775	▲ 14.6	22.6	8,684	▲ 10.3	21.4	0.97
ASEAN・南アジア	6,104	▲ 8.9	14.4	5,840	▲ 10.2	15.0	6,382	▲ 6.1	15.7	1.02
EU	5,383	6.5	12.7	4,764	▲ 4.3	12.3	4,990	▲ 0.1	12.3	0.61
韓国・台湾	3,827	▲ 10.0	9.0	3,763	▲ 9.3	9.7	4,014	▲ 5.4	9.9	0.85
その他	7,121	7.0	16.8	6,220	▲ 8.5	16.0	6,875	0.2	16.9	0.73

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

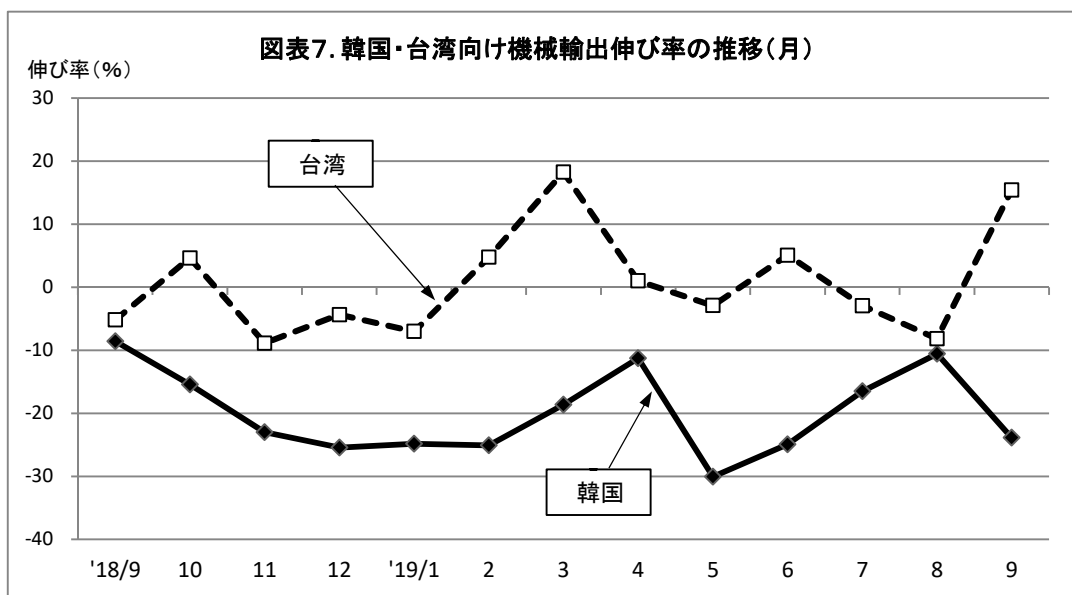


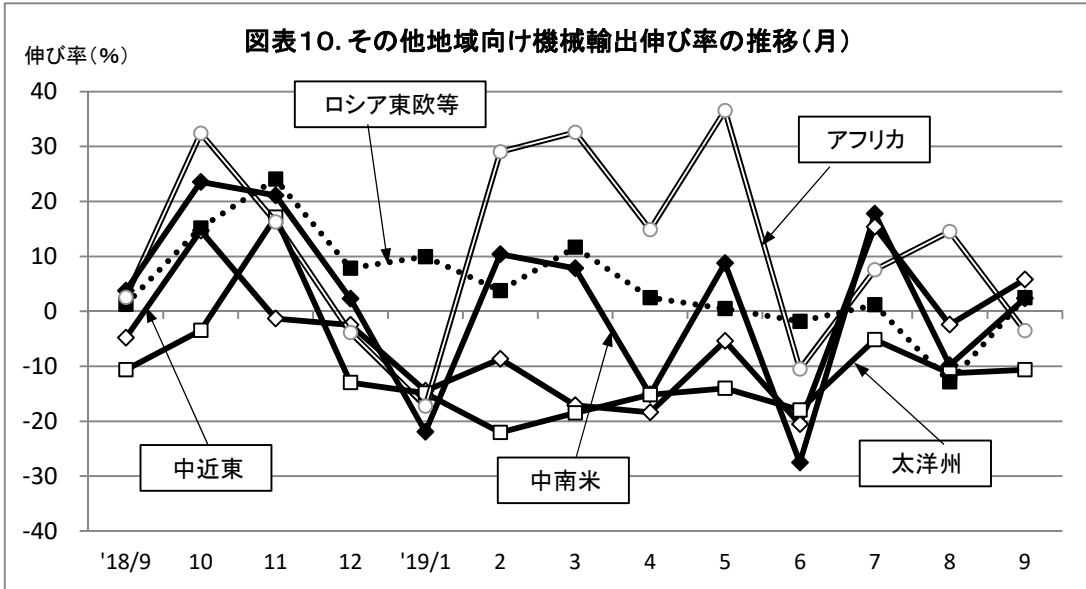
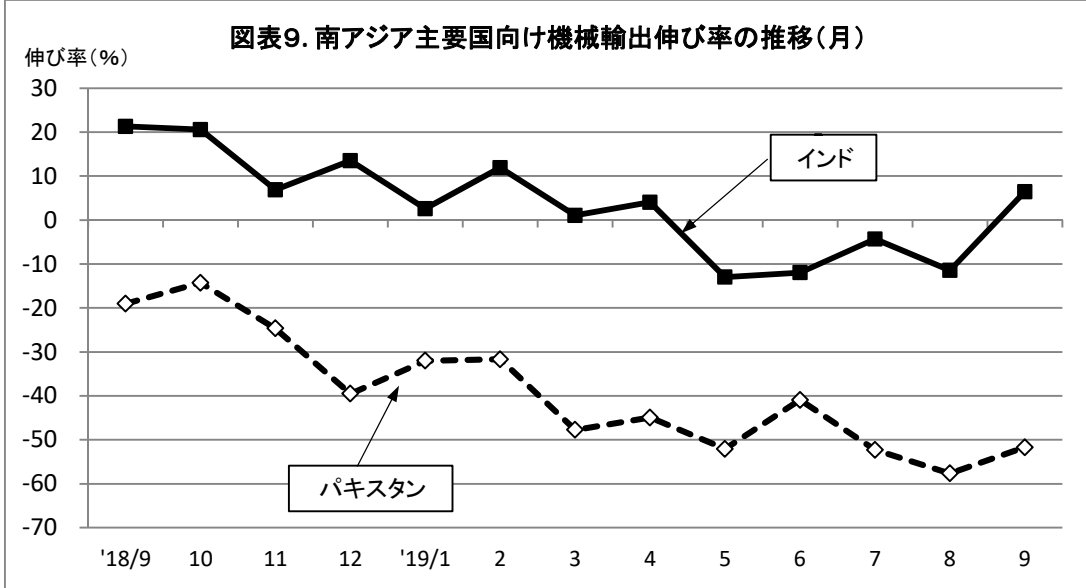
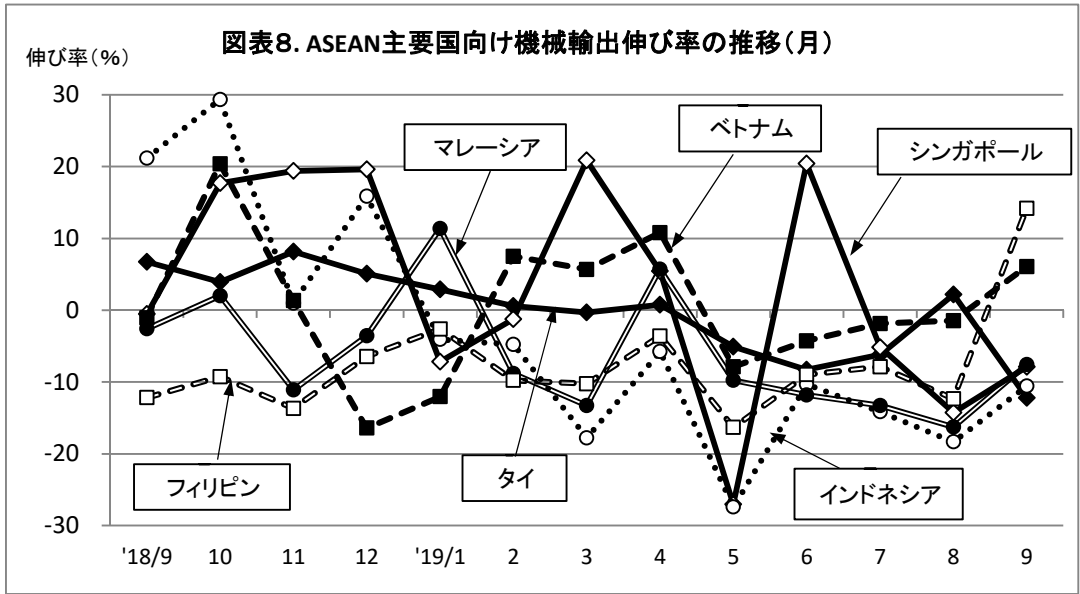
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2019/6		2019/7		2019/8		2019/9	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,753	▲ 24.9	1,837	▲ 16.5	1,814	▲ 10.5	1,713	▲ 23.9
台湾	2,150	5.1	1,990	▲ 2.9	1,948	▲ 8.2	2,301	15.5
ASEAN・南アジア								
タイ	1,636	▲ 8.3	1,559	▲ 6.2	1,623	2.2	1,633	▲ 12.2
シンガポール	1,086	20.4	837	▲ 5.2	817	▲ 14.2	865	▲ 7.9
インドネシア	858	▲ 10.3	842	▲ 14.1	749	▲ 18.3	872	▲ 10.6
マレーシア	630	▲ 11.8	646	▲ 13.3	584	▲ 16.3	632	▲ 7.6
フィリピン	626	▲ 9.0	637	▲ 7.9	548	▲ 12.3	705	14.2
ベトナム	745	▲ 4.3	779	▲ 1.9	833	▲ 1.4	896	6.1
インド	539	▲ 12.0	549	▲ 4.4	468	▲ 11.4	536	6.4
パキスタン	94	▲ 40.9	70	▲ 52.3	55	▲ 57.6	73	▲ 51.7
その他地域								
中南米	1,809	▲ 27.6	2,456	17.8	2,131	▲ 9.8	2,322	2.3
中近東	1,402	▲ 20.6	1,626	15.4	1,465	▲ 2.4	1,826	5.8
大洋州	1,130	▲ 18.0	1,303	▲ 5.1	1,069	▲ 11.3	1,094	▲ 10.6
ロシア東欧等	1,184	▲ 1.8	1,214	1.2	1,009	▲ 12.9	1,176	2.5
アフリカ	622	▲ 10.5	636	7.5	603	14.5	523	▲ 3.5

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中 電子デバイス、船舶をはじめ4業種が増加。～

- 1)業種別では、電子デバイス(4.3%増)、船舶(16.2%増)、航空機部品(2.8%増)、繊維機械(5.0%増)の4業種が増加した(8月も4業種)。そのうち、船舶のみが二桁の伸びとなり、機械全体では6.4%の減少となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、軽機械、ベアリング、医療機械の4業種となった(8月は7業種)。他方、電子計算機、民生用電子機械、鉄道車両が30%台、通信機械、産業車両が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き (単位:億円、%)

2019/7			2019/8			2019/9			対2007/9 比
業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率	
自動車	15,336	▲3.1	自動車	12,708	▲9.4	自動車	14,247	▲6.3	0.84
産業機械	7,266	▲8.9	産業機械	7,078	▲13.2	産業機械	6,815	▲9.9	0.90
電子デバイス	3,356	▲7.5	電子デバイス	3,556	▲2.4	電子デバイス	3,621	4.3	0.77
軽電気機械	2,464	▲1.7	軽電気機械	2,337	▲5.2	軽電気機械	2,443	▲3.9	0.91
重電気機械	2,076	▲8.7	重電気機械	1,986	▲12.4	重電気機械	2,051	▲7.2	0.94
船舶	1,741	60.5	軽機械	1,587	▲6.3	軽機械	1,641	▲5.6	1.15
軽機械	1,707	▲2.0	船舶	1,519	5.7	船舶	1,583	16.2	0.90
民生用電子機械	1,425	▲6.0	民生用電子機械	1,370	▲9.5	民生用電子機械	1,438	▲7.9	0.36
建設機械	1,267	2.4	光学機械	1,216	▲10.9	光学機械	1,116	▲15.6	2.8
光学機械	1,098	▲9.8	建設機械	1,035	▲15.3	建設機械	1,047	▲4.9	0.79
航空機部品	758	13.2	航空機部品	691	3.7	航空機部品	774	2.8	1.9
工作機械	698	▲18.1	工作機械	653	▲15.8	工作機械	670	▲21.6	1.6
医療機械	448	▲6.9	医療機械	478	4.9	医療機械	485	▲11.2	1.2
通信機械	442	▲18.3	通信機械	456	▲22.3	通信機械	453	▲24.3	1.1
ベアリング	423	▲1.6	陸用内燃機関	376	▲13.0	電子計算機	399	▲16.7	1.0
陸用内燃機関	407	▲3.4	電子計算機	375	▲13.3	陸用内燃機関	378	▲15.7	0.9
電子計算機	365	▲19.8	ベアリング	362	▲9.6	ベアリング	376	▲7.1	0.9
農業機械	195	9.5	繊維機械	198	▲4.5	農業機械	192	▲3.1	0.5
繊維機械	167	▲12.5	農業機械	190	16.3	繊維機械	185	5.0	0.5
産業車両	119	▲12.9	産業車両	97	▲15.5	産業車両	104	▲16.1	0.3
鉄道車両	78	▲47.0	鉄道車両	61	▲73.0	鉄道車両	38	▲59.1	0.1
21業種合計	41,835	98.7	21業種合計	38,329	98.7	21業種合計	40,057	98.7	0.81

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:テレビ、カメラ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～発電機、船舶等が大きく増加、鉄道車両、携帯電話等が大幅減少～

- 1)10%以上の伸び率を示したのは、①米国、中国向け**発電機**(56.6%増)、②その他地域、ASEAN・南アジア向け**船舶**(16.2%増)、③ASEAN・南アジア向け**原動力機械**(15.8%増)、④北米、中国向け**電池**(11.4%増)であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、鉄道車両(59.1%減)、通信機械部分品(49.2%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2019/7			2019/8			2019/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1,741	60.5	農業機械	190	16.3	発電機	100	56.6
金属加工機械	273	15.5	機種合計	190	* 0.49%	船舶	1,583	16.2
TV	117	13.5				原動力機械	372	15.8
航空機部品	758	13.2				電池	570	11.4
乗用車	9,675	10.8				機種合計	2,625	* 6.5%
電池	582	10.2						
機種合計	13,146	* 31.0%						

は、2ヶ月連続で上位機種

* 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表 13. 減少率上位機種 (月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円、%)

2019/7			2019/8			2019/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	78	▲ 47.0	鉄道車両	61	▲ 73.0	鉄道車両	38	▲ 59.1
携帯電話	13	▲ 33.6	携帯電話	16	▲ 42.9	通信機械部分品	138	▲ 49.2
通信機械部分品	149	▲ 28.8	通信機械部分品	153	▲ 38.0	磁気カード・ディスク等	112	▲ 33.6
写真機の部分品・附属品	84	▲ 24.7	磁気カード・ディスク等	104	▲ 27.4	工作機械	670	▲ 21.6
磁気カード・ディスク等	101	▲ 21.1	半導体製造装置	1,917	▲ 24.5	写真機の部分品・附属品	110	▲ 19.1
原動力機械	323	▲ 20.6	原動力機械	380	▲ 19.8	電子計算機	399	▲ 16.7
電子計算機	365	▲ 19.8	写真機の部分品・附属品	91	▲ 18.7	産業用ロボット	145	▲ 16.5
工作機械	698	▲ 18.1	その他の配電制御装置	867	▲ 17.1	産業車両	104	▲ 16.1
半導体製造装置	1,907	▲ 13.5	発電機	63	▲ 16.3	自動車部品	4,295	▲ 15.8
産業車両	119	▲ 12.9	工作機械	663	▲ 15.8	陸用内燃機関	378	▲ 15.7
機種合計	3,837	* 9.1%	機種合計	4,315	* 11.1%	機種合計	6,389	* 15.7%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～電子計算機、医療機械等が二桁増加、携帯電話、乗用車等が減少～

- 1) 9月の機械輸入伸び率は3.2%増と再び増加した。上位12機種のうち8機種が増加し、そのうち電子計算機(18.5%増)、医療機械(18.1%増)、受信変換その他送受信機器(31.6%)、コンデンサー等部分品(10.6%増)の4機種が二桁の増加であった。減少したのは、携帯電話(11.9%減)、乗用車(3.9%減)、自動車部品(7.3%減)、白物家電(1.4%減)の4機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、医療機械、受信変換その他送受信機器、白物家電、配電機器、時計、TV、通信機械部分品の10機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の40%を占める中国(1.3%増)、ASEAN・南アジア(9.3%増)、EU(2.4%増)、韓国・台湾(5.5%増)、北米(3.1%減)、その他地域(15.0%増)の順であった。

図表 14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2019/7				2019/8				2019/9			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,081	▲ 16.3	9.5	電子デバイス	1,983	▲ 12.7	10.3	電子デバイス	2,461	5.9	11.5
電子計算機	2,022	13.0	9.2	電子計算機	1,869	2.7	9.7	電子計算機	1,954	18.5	9.1
航空機・部品等	1,448	▲ 10.0	6.6	乗用車	1,463	25.4	7.6	携帯電話	1,913	▲ 11.9	9.0
自動車部品	1,213	▲ 4.8	5.5	航空機・部品等	1,280	▲ 26.4	6.6	乗用車	1,186	▲ 3.9	5.5
携帯電話	1,063	▲ 7.0	4.9	自動車部品	990	▲ 13.9	5.1	自動車部品	1,111	▲ 7.3	5.2
乗用車	967	▲ 7.1	4.4	医療機械	763	18.3	4.0	航空機・部品等	1,101	8.3	5.2
白物家電	885	3.9	4.0	携帯電話	704	▲ 31.6	3.7	医療機械	743	18.1	3.5
医療機械	820	24.6	3.7	白物家電	634	▲ 13.6	3.3	受信変換その他送受信	706	31.6	3.3
受信変換その他送受信	664	11.6	3.0	受信変換その他送受信	566	▲ 10.7	2.9	白物家電	631	▲ 1.4	3.0
配電機器	663	8.0	3.0	配電機器	556	▲ 7.5	2.9	配電機器	586	3.4	2.7
コンデンサー等部分品	439	8.4	2.0	コンデンサー等部分品	400	▲ 1.2	2.1	コンデンサー等部分品	412	10.6	1.9
その他の配電制御装置	428	2.5	2.0	その他の配電制御装置	364	▲ 8.0	1.9	その他の配電制御装置	383	1.4	1.8
12機種合計	12,693		58.0	12機種合計	11,572		60.0	12機種合計	13,187		61.7

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等